

ゲノム解析が向かう先

2020年2月2日 日

13:30-17:00 (13:00開場)

会場

秋葉原UDX 4F

UDXギャラリー-ネクスト「ネクスト1」

東京都千代田区外神田4-14-1秋葉原UDX 4階

プログラム

13:30-13:35

「開会の挨拶」

加藤 和人(大阪大学大学院医学系研究科)

13:35-13:50

「ゲノム指針改正の現状紹介」

山縣 然太郎(山梨大学大学院総合研究部)

13:50-14:20

「ゲノム情報・診療情報のデータ共有と研究への利活用の国際的な動向」

荻島 創一(東北大学 東北メディカル・メガバンク機構)

(休憩 20分)

14:40-15:10

「遺伝統計学とヒトゲノム解析の最前線」

岡田 随象(大阪大学大学院医学系研究科)

15:10-15:40

「遺伝医療・ゲノム医療の現場から—現状と課題」

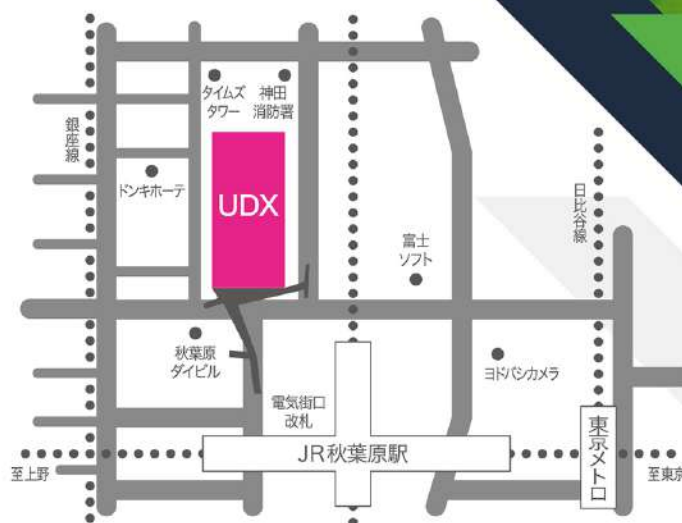
渡邊 淳(金沢大学附属病院 遺伝診療部)

(休憩 20分)

16:00-17:00

質疑応答・総合討論(パネルディスカッション)

ゲノム解析を用いた研究に関する状況は、ここ数年でまた大きく変化を遂げつつあります。そこで今回は、「ゲノム解析が向かう先」をテーマに、ヒトゲノム研究倫理を考える会を開催いたします。注目されているトピックスについて国内外の最新の動向、またそれらが進む先はどこにあるのか、皆さんと一緒に考える機会になれば幸いです。是非ご参加ください。



JR 秋葉原駅より 徒歩3分、東京メトロ日比谷線秋葉原駅より徒歩6分

お申込み

定員 150名(参加費無料)

対象 大学・研究機関の倫理審査関係者、研究者など

参加登録 下記ページのフォームから参加登録をお願いします。 ※事前参加登録は1月31日(金)12:00まで

<https://www.genomics-society.jp/news/event/post-20200202.php/>

